

みずほマーケット・トピック(2023 年 5 月 19 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、米債務上限問題に対する懸念が後退する中、米金利動向に合わせ上昇、年初来高値を更新した。週初15日、135.82円でオープンしたドル/円は、米金利上昇を受け136円付近へ上昇。海外時間は、米5月NY連銀製造業景気指数の弱い結果を背景に米金利低下に合わせ下落する場面もあったが、FRB高官のタカ派な発言が下支えとなり136円を挟んだレンジ推移となった。16日、ドル/円は材料に欠ける中、136円付近でじり安推移。海外時間は、米4月鉱工業生産の強い結果に米金利は上昇、つられる形で136円台半ばに上昇した。17日、ドル/円は日本株が堅調推移する中、136円台後半に続伸。海外時間は、バイデン米大統領とマッカーシー米下院議長が債務上限問題に関し、「21日までに合意することは可能」とする内容のヘッドラインが伝わると市場心理の改善とともに137円台後半に上値を伸ばした。18日、ドル/円は材料に欠ける中、137円台半ばでレンジ推移。海外時間は、米金利上昇を背景に年初来高値を更新後、NY時間には米新規失業保険申請件数の良好な結果やFRB高官のタカ派な発言に米金利が続伸すると、一時週高値となる138.75円まで上値を追いかけた。本日のドル/円は、引き続き前日の高値圏での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、米金利上昇を背景に下落した。週初15日、1.0854でオープンしたユーロ/ドルは、軟調な米景況感指数の結果を受けたドル売りを背景に1.08台後半に上昇した。16日、ユーロ/ドルは、欧州株式の堅調推移を受け一時週高値となる1.0904に続伸するも、その後は米金利上昇が重しとなり1.08台半ばに反落した。17日、ユーロ/ドルは独金利低下に合わせ1.08台前半に続落も、その後は市場心理の改善を受けた独金利の切り返しを背景に1.08台半ばに値を戻した。18日、ユーロ/ドルは良好な米経済指標やマッカーシー下院議長による米債務上限問題解決に自信を示す発言等を受けた米金利上昇を背景に一時週安値となる1.0763に下落した。本日のユーロ/ドルは、ドル買いが一服し1.07台後半での取引となっている。

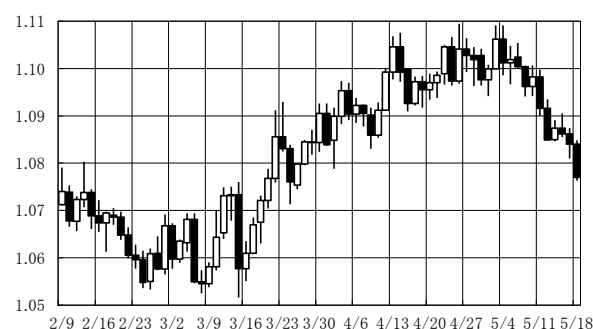
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		5/12(Fri)	5/15(Mon)	5/16(Tue)	5/17(Wed)	5/18(Thu)
ドル/円	東京9:00	134.49	135.82	136.02	136.43	137.59
	High	135.76	136.32	136.69	137.72	138.75
	Low	134.41	135.60	135.68	136.31	137.29
	NY 17:00	135.76	136.10	136.39	137.71	138.72
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0913	1.0854	1.0874	1.0867	1.0838
	High	1.0935	1.0890	1.0904	1.0873	1.0848
	Low	1.0848	1.0845	1.0855	1.0811	1.0763
	NY 17:00	1.0849	1.0875	1.0862	1.0839	1.0771
ユーロ/円	東京9:00	146.81	147.39	147.91	148.25	149.18
	High	147.45	148.15	148.50	149.23	149.45
	Low	146.67	147.34	147.61	148.12	148.79
	NY 17:00	147.29	147.94	148.18	149.20	149.39
日経平均株価		29,388.30	29,626.34	29,842.99	30,093.59	30,573.93
TOPIX		2,096.39	2,114.85	2,127.18	2,133.61	2,157.85
NYダウ工業株30種平均		33,300.62	33,348.60	33,012.14	33,420.77	33,535.91
NASDAQ		12,284.74	12,365.21	12,343.05	12,500.57	12,688.84
日本10年債		0.38%	0.41%	0.39%	0.36%	0.38%
米国10年債		3.46%	3.51%	3.54%	3.57%	3.65%
原油価格(WTI)		70.04	71.11	70.86	72.83	71.86

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、24日(水)にFOMC議事要旨(5月会合分)が公表予定となっている。会合では、市場予想通り+25bp利上げを決定。声明文での大きな変化は、利上げ停止が示唆されたことだ。「追加の政策措置が適切」との表現が削除され、「追加策がどの程度必要か決定する際には、これまでの金融引き締め
の累積的な効果や経済や物価に時間差で与える影響を考慮する」との表現が挿入された。「累積的な効果」が謳われている以上、今回が最後の利上げになる可能性が高い。パウエルFRB議長も会見で利上げ停止を示唆。ただし、データ次第では利上げ再開もいとわない姿勢も示した。ただ、それを正当化するには強いインフレ指標や労働指標が連続する必要がある、ハードルは高い。他方、年内利下げ観測に関し、「適切でない」と一蹴。労働市場の軟化とともにインフレ目標への収束が見えなければ、年内利下げは正当化されないだろう。議事要旨では、利上げ停止や利下げ開始の時期や条件に加え、上級融資担当者調査等に現れる利上げの需要抑制効果に関しどのような議論があったのかを中心に確認したい。
- 欧州では、23日(火)に5月製造業/サービス業PMI(速報)が公表予定。前回4月の結果は、製造業が45.8と3月から低下し、10か月連続の中立水準割れを記録するなど軟調であった。他方、サービス業に関しては56.2と3月から5か月連続で上昇し、4か月連続の中立水準超えとなった。また、コンポジットPMIは54.1と6か月連続で上昇し、11か月ぶりの高水準を記録した。域内のGDP成長率は1～3月期に+0.1%(前期比)を記録したが、4月もサービス業を中心に成長が続いているものと考えたい。なお、ブルームバーグの事前予想では、製造業は46.0、サービス業に関しては55.5と見込んでいる。

	本 邦	海 外
5月19日(金)	・4月全国消費者物価指数	・独4月生産者物価指数
22日(月)	・3月コア機械受注	・ユーロ圏5月消費者信頼感(速報)
23日(火)	・5月製造業/サービス業PMI(速報)	・ユーロ圏5月製造業/サービス業PMI(速報) ・米5月製造業/サービス業PMI(速報) ・米4月新築住宅販売件数
24日(水)	・4月工作機械受注(確報)	・独5月IFO企業景況感指数 ・米FOMC議事要旨(5月会合分)
25日(木)	—————	・独1～3月期GDP(確報) ・独6月GfK消費者信頼感 ・米1～3月期GDP(改定値) ・米4月中古住宅販売仮契約
26日(金)	・4月企業向けサービス価格指数	・米4月個人所得/支出 ・米4月個人消費支出デフレーター ・米4月耐久財受注(速報) ・米5月ミシガン大学消費者マインド(確報)

【当面の主要行事日程(2023年5月～)】

G7 広島サミット(5月19～21日)

FOMC(6月13～14日、7月25～26日、9月19～20日)

ECB政策理事会(6月15日、7月27日、9月14日)

日銀金融政策決定会合(6月15～16日、7月27～28日、9月21～22日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年5月18日	1～3月期GDPを受けて～ベントアップ需要を阻む円安～
2023年5月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年4月分)
2023年5月16日	4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～
2023年5月15日	新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～
2023年5月12日	週末版(米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)
2023年5月11日	3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～
2023年5月9日	ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～
2023年5月8日	FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～
2023年5月2日	円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～
2023年5月1日	植田体制初会合のレビューと円相場への影響
2023年4月28日	週末版
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版(インバウンドの現状と展望～量・質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年3月分)
2023年4月14日	週末版(FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見通しへの影響はあるか?～)
2023年4月12日	変わる直接投資とスローバライゼーション(slowbalization)
2023年4月11日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月10日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月7日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)
2023年4月6日	次の危機はCRE危機か?～ECBの警鐘～
2023年4月4日	日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～
2023年4月3日	ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)の読み方
2023年3月31日	週末版
2023年3月30日	第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～
2023年3月28日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月24日	週末版(鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)
2023年3月23日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月22日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月17日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～
	週末版
2023年3月16日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月15日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年2月分)
	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月13日	SVB破綻、ドル/円相場見通しへの影響
2023年3月10日	週末版(1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)
2023年3月8日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月7日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月6日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年3月3日	週末版(賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)
2023年2月28日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月27日	植田総裁候補の所信聴取を受けて
2023年2月24日	週末版
2023年2月21日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月20日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月17日	週末版(本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～)
2023年2月15日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年1月分)
	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～理想から現実へ～
2023年2月10日	週末版
2023年2月9日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～
2023年2月8日	2022年の国際収支統計を受けて～意外な伏兵～
2023年2月7日	日本はドイツに追い抜かれてしまうのか～何が違うのか～
2023年2月6日	IMF見通し上昇修正と為替見通しの関係について
2023年2月3日	週末版(ECB政策理事会を終えて～顕著に改善するユーロ相場の取引環境～)
2023年2月2日	FOMCを終えて～ドル/円見通しに影響なし～
2023年1月30日	23年、最初の1か月を終えて～言うほど進まないドル安～
2023年1月27日	週末版(当面のECBの金融政策運営の考え方～「追い風」を得てタカ派に持続性～)
2023年1月25日	神風に救われたユーロ圏経済～最悪からの復活?～
2023年1月24日	「投機の円買い」vs.「実需の円売り」の行方
2023年1月23日	日銀タカ派とFRBハト派の併存は可能なのか?
2023年1月20日	週末版(史上最大の貿易赤字をどう捉えるか～輸入増加の次は輸出減少に?～)
2023年1月19日	日銀政策決定会合を受けて～現状維持とも言い切れず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年12月分)
2023年1月18日	懸念されるユーロ圏のインフレ～コアは加速中～
2023年1月16日	日銀は本当に動くのか?～当面の展開を整理～
2023年1月13日	週末版(依然残る日本の閉鎖性～入国規制とインバウンド需要～)
2023年1月10日	米12月雇用統計を受けて～無理筋なハト派解釈～
2023年1月6日	週末版
2023年1月5日	FOMC議事要旨を受けて～23年利下げへの支持はゼロ～
2023年1月4日	2023年展望の「重要な前提」と「パス」のおさらい
2022年12月23日	週末版(史上最大の円安の年を終えて～円高を「押し目」とする視座～)
2022年12月21日	日銀の政策修正に関する論点整理～日銀Pivot～
2022年12月20日	米インフレ急減速を当然視する風潮は大丈夫なのか
2022年12月19日	円安で注目したい対内直接投資のポテンシャル
2022年12月16日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「ターミナルレート3%」では不十分というメッセージ～)
2022年12月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年11月分)
	FOMCを終えて～PCEピークアウトと利上げ停止時期～
2022年12月14日	米11月CPIを受けて～円相場に対する見方は不変～
2022年12月13日	23年、ドル/円相場のメインシナリオとリスクの要約
2022年12月12日	インバウンド復活は2023年春以降のテーマに
2022年12月9日	週末版
2022年12月6日	ECB政策理事会プレビュー～2つの注目点～
2022年12月5日	「日本人の円売り」は一過性の懸念で終わるのか?
2022年12月2日	週末版(135円台で考える「安い日本」～名目円高では解決しない根深い問題～)
2022年12月1日	まだ警戒が必要なユーロ圏のインフレ情勢
2022年11月29日	ECB議事要旨を受けて～開き始めたFRBとの差～